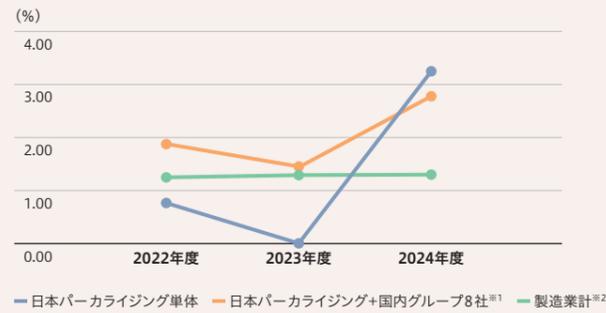


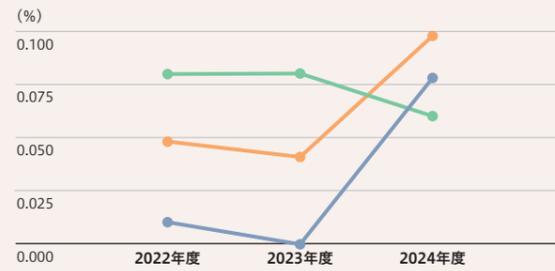
労働災害度数率



度数率 = (死傷者数 / 延べ労働時間数) × 1,000,000

※1：請負者含む国内グループ8社：パーカーエンジニアリング㈱、パーカー加工㈱、大分パーカラライジング㈱、小松パーカラライジング㈱、日本カニゼン㈱、浜松熱処理工業㈱、ミリオン化学㈱、共同輸送㈱
 ※2：厚生労働省白書労働災害動向調査(事務所調査(事業所規模100人以上)および総合工業調査)の概況より

労働災害強度率



強度率 = (労働損失日数 / 延べ労働時間数) × 1,000

リスク管理と現場改善

各職場では、作業標準の見直しや設備の安全対策を継続的に実施することで、作業者の負担軽減と事故リスクの低減を図っています。また、KY(危険予知)活動やヒヤリ・ハット(事故につながりかねない事例)の収集・分析を通じて、作業者主導の安全文化の醸成に取り組んでいます。現場視点に立った継続的な改善活動を実践し、全社的な安全管理レベルの維持・向上に努めています。

リスク管理に必要な項目や手順は「安全衛生・環境マニュアル」などに具体的に定められており、重大災害の防止に向けて、危険作業等のリスクを抽出し、リスクレベルに応じて社内横断的な対策を講じています。労働災害が発生した

際には、環境安全部と各事業本部が迅速に連携し、災害情報の共有を行います。災害の詳細、発生原因、再発防止策については、全事業所およびグループ会社に展開・共有し、類似災害の防止に活用しています。

また、当社グループでは、事業活動において多くの化学物質を使用しています。従業員がこれらの化学物質を安全かつ適切に取り扱えるよう、各事業所で「化学物質リスクアセスメント」を実施しています。この取り組みにより、化学物質ごとの有害性や、工場内作業に潜む事故のリスクを把握し、適切な管理を徹底しています。

教育・啓発活動の推進

安全意識の向上および安全作業の習得が重要と位置づけており、継続的に、安全衛生教育を実施しています。危険予知能力を向上させるため、イラストを用いた職場討論や体感訓練など、従業員が安全を確保するための知識とスキルを習得できるよう、各層の業務役割に応じたさまざまな安全教育を実施しています。

2024年度は「全国安全週間」に合わせて第43回社内安全衛生大会を開催し、無災害記録者の表彰や、中央労働災害防止協会による「化学物質の爆発・火災リスク」に関する講演を実施しました。

従業員一人ひとりが安全への意識を高め、安全文化のさらなる定着を図っていきます。

サプライチェーン・マネジメント

当社グループは、持続可能なサプライチェーンの構築に向けて、取引先との連携を強化しています。資源の適切な管理や生産・供給体制の整備を通じて循環型社会の実現に貢献するとともに、安定供給に向けた調達リスクの把握とその対策にも積極的に取り組んでいます。

調達方針

当社グループは、法令遵守、環境保全、人権尊重、公正な取引を基盤とした健全な調達活動を推進するため、「調達方針」に基づいて「CSR調達ガイドライン」および「グリーン調達ガイドライン」を策定し、お取引先さまと協働して、持続可能な調達活動に取り組めます。

調達方針

1. 日本パーカラライジンググループは、お取引先さまと相互信頼のもと共存共栄の実現を目指します
2. 日本パーカラライジンググループは、すべてのお取引先さまに対し調達取引の機会を提供し、品質・価格・納期等を考慮の上、公正かつ誠実なサプライヤーの選定を行います
3. 日本パーカラライジンググループは、国内外の法令・社会規範等を遵守するとともに、お取引先さまに対しても同等の法令等の遵守を求めます
4. 日本パーカラライジンググループは、環境、人権、労働安全衛生、企業倫理に十分配慮し、持続可能な調達活動に取り組めます

サプライチェーン・マネジメント

① 社会的責任に配慮した調達の推進(CSR調達)

当社グループは、CSR調達ガイドラインを策定し、人権尊重や差別の禁止、強制労働・児童労働の排除、責任ある鉱物調達、反社会的勢力の排除、情報セキュリティ対策など、社会的責任に配慮した調達を推進しています。また、環境面では法令遵守、省資源・省エネルギー、温室効果ガスの削減、生物多様性への配慮など、持続可能な調達の実現に向けた取り組みを推進しています。

📄 CSR調達ガイドライン
https://www.parker.co.jp/ja/_pdf/csr/csr_guideline.pdfへ

② 環境負荷低減に向けた調達活動の推進(グリーン調達)

当社グループでは、原材料の調達から廃棄までのライフサイクル全体を対象に、ヒトや環境への危険有害性が懸念される物質を管理するために「グリーン調達ガイドライン」を策定しています。具体的には、環境負荷の少ない製品・容器の採用など、お取引先さまと連携して、危険有害性物質の削減に取り組んでいます。

📄 グリーン調達ガイドライン
https://www.parker.co.jp/ja/_pdf/csr/green_guideline4.0.pdfへ

③ 紛争鉱物対応

当社グループでは、一部鉱物資源の取引が、紛争や人権侵害につながる可能性が指摘されていることを踏まえ、毎

年取引先に対する調査を実施し、原材料として紛争鉱物を使用しない「コンフリクトフリー」の実現を目指し、社会的課題に配慮した調達を推進しています。

④ 安定供給に関わる取り組み

当社グループでは、製品・サービスの安定供給に向けて、調達先の多様化や在庫管理の最適化、サプライヤーとの連携強化、物流体制の見直しに取り組んでいます。また、BCP(事業継続計画)を整備し、非常時にも柔軟に対応できる体制を構築することで、供給責任を果たしています。

⑤ 持続可能な調達に向けたサプライヤーとの協働

当社では、すべてのお取引先さまに対し、毎月「調達短信」を配信しています。この短信では、直近の納入時に発生した不適合事例、重要事項のご連絡、ならびに品質管理に関する情報の共有および重要事項の周知を図り、サプライチェーン全体の品質維持・向上に努めています。また、お取引先さまとの相互理解を深め、より強固なサプライチェーンを構築することを目的として、2022年度より年1回の頻度でお客さまへのアンケートを実施しています。アンケートの回収率は、2022年度：47%、2023年度：50%、2024年度：71%でした。今後も当社の方針や取り組みに関する継続的な対話を通じて、サプライヤーとの良好な関係を維持します。